

令和四年第一回議会定例会一般質問 「学生応援一時給付金について」

田中大

町独自で学生に給付金を支給すべきだ

まん延する新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン株は、社会全体に大きな影響を与えていますが、その影響は決して均等ではなく、社会的弱者の生活に対し、より厳しい影響が及んでいます。その影響により、大学生らにも深刻な経済的困難が広がっております。ある学生団体がインターネットを通じて大学や専門学校に通う学生から集めた実態調査では、5人に1人が退学を検討中という驚くべき結果がでておりました。そして、自由記述欄には切実な声が寄せられていました。「アルバイトのシフトが減らされ、収入が激減した」「アルバイト先が休業したが、休業補償が受けられず、学費が不足する」「アルバイトを10か所応募したが全て断られた」「親の収入が減り、大学を辞めることにした」などありました。

こうした中、全国の200以上の大学で授業料返還や減額などを求めるオンライン署名が行われております。そして、国の学生支援緊急給付金制度が示されましたが、この緊急給付金は支給対象者の要件があり、全ての学生を対象にした制度ではありません。

こうした中、東通村が、1月25日、村出身の大学生らを対象に1人10万円を給付することとしたと報道がありました。政府が18歳以下の子どもに給付した事業で対象外となっていた学生を村が独自に支援することです。

我が平内町でも既に大学生等応援給付金事業を実施しましたが、学生や保護者の方からは、「非常に助かった。」との声が私の元にも多く寄せられました。

また、去る1月27日から弘前市に「まん延防止等重点措置」が適用されました。弘前市の大学や専門学校には当町出身の学生が多数在籍しております。重点措置期間中、アルバイト収入や親の仕送りが激減した学生が多数いたことは想像に難くありません。

当町出身の若者は町の宝です。町出身の学生に平内町に対する愛着を持っていただけるよう、学生支援緊急給付金対象外の困っている学生達を応援するため、町独自で学生応援一時給付金を支給すべきと考えますが、町長の見解をお伺いいたします。

町長

令和4年度の早い時期に支援していく

町としても、すべての大学生等を対象とした支援策が必要であると考えていたところであります。この度、県が新型コロナウイルス感染症の拡大の防止と地域経済の維持回復を図るため「新型コロナウイルス感染症市町村総合対策補助金」を支給することとしたことから、当該補助金を活用して大学生等への支援を行いたいと検討していたところであります。

なお、県から補助金の金額や対象について示された時期の関係から、今回の補正予算には間に合いませんでしたが、来年度の早い時期に大学生等への支援のみならず、様々な新型コロナウイルス感染症対策や地域経済への支援策などを実施していきたいと考えております。

田中大

令和2年度支援額と同額を、可能な限り早い時期にお願いしたい

町として既に支給をご検討いただいているという答弁をいただきました。一安心しました。県の補助金額確定により、支給額を決定するものと考えておりますが、最低でも令和2年度支給額と同額を、そして、可能な限り新年度の早い時期に支給していただきますようお願いいたします。質問を終わります。



平内町
議会議員

田中だい通信

さらに前進！明日に取り組む！未来を創る！

夢も希望も大！

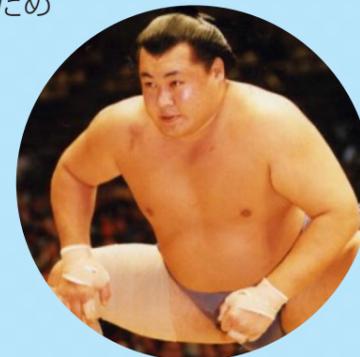
スローガンのもとでさらに前進！

目次

- 1. 盟友・元関脇追風海さんが公認候補者
- 2. 総務福祉常任委員会所管事務調査報告書
- 3. 町の課題 残さ処理業者プロポーザル開催
- 4. AOMORI政治塾
- 5. 議会定例会一般質問

はやてうみ
盟友・元関脇追風海さんが公認候補者

7月に予定される参議院議員通常選挙（青森県定数1）の自民党公認候補が、2月19日決定いたしました。候補者は、齊藤直飛人さんで、元大相撲力士。相手候補は、大物政治家ですが、党一丸となって、議席奪還できるよう頑張ってまいります。齊藤さんは、大相撲引退後、板柳町議員1期、現在は県議3期目で県政発展のため奮闘中です。



町政へのアイデア、ご提案、ご要望募集中！
皆様から頂いたお声は、議会での質疑や担当課へ直接要望するなど、責任をもって町へ届けます！

電話 017-763-0170 FAX 017-755-4295 携帯 090-3125-8752

メール tanakada_0525@yahoo.co.jp

※この新聞は後援会討議資料です



町をよりよくする方法を模索する Seeking.

総務福祉常任委員会所管事務調査報告書

日時：令和4年2月4日（金）10時～ 場所：平内町役場議員控室
 内容：「国民健康保険について」

報告：平内町の国保

1. 国保の概要

平成30年度から、県が財政運営の責任主体となった。被保険者は、町民全体の約34%が加入。その他は、社会保険や共済保険への加入となっている。町民の国保税は一人あたり154,413円で県内一高い。



2. 高い国保税と財政事情

平成29年度までは、町が町国保の医療費を賄うために、町が国保税を集めやりくりしていたが、平成30年度からは、県が収支の見通しを立てて、それに基づき、町が県へ国保事業費納付金を納めるために、町が国保税を集めることになった。国保税の金額は、所得水準と医療費水準で決定されるが、当町はどちらも県内では断トツで高くなっている。

3. 国保の課題と解決に向けた取組

当町の国保税を抑えるには、医療費水準の引き下げが必須である。町民の疾病の特徴は、慢性腎臓病（透析）、糖尿病や精神疾患の医療費が高い傾向にあり、患者数も高止まりしている。また、生活習慣病関連では、特にがんの医療費が高額になりやすいとのこと。いずれの疾患も、中・長期的な医療費の増大・高止まりにつながりやすい疾患であることから、若年層のうちから、早期介入による生活習慣病予防に取り組むことが大切である。

感想

平内町の国保税は、なぜ高いのかがわかりました。その理由を、行政と議員が町民にわかりやすく説明し、納得してもらう必要があります。今後は、国保税を適正化するための医療費水準引き下げを実現するために、「健康の町」でなければならないと感じました。



町の問題・課題に立ち向かう Confront.

町の課題 残さ処理業者プロポーザル開催
平内の永遠のテーマともいわれる残さ処理の動向

1月18日（火）、町の基幹産業であるホタテガイ養殖残さ処理業者を選考するため、7業者より事業概要を提案（プロポーザル）していただきました。長年の課題である養殖残さ処理問題、前の業者にすっぽかされた経緯もあることから、しっかりと議論して見極めてまいります。なお、参加された業者は、以下のとおりです。

- ・弘前大学地域戦略研究所（青森県弘前市）
- ・(株)前川製作所（東京都江東区）
- ・(株)AOMORIロジステック（青森県青森市）
- ・共和化工(株)（東京都品川区）
- ・(株)あおもリスクロテック産業 *書類参加（青森県平内町）
- ・(株)三共刃型工業（大阪府岸和田市）
- ・(株)オカドラ *書類参加（神奈川県横浜市）

AOMORI政治塾
大人の役割は、若者の人材育成

12月18日、AOMORI政治塾第三講座を受講しました。講師は、荒川栄さん。青森山田高校新体操部元監督で、現在は、ワイズパーク青森運営会社代表取締役を務めていらっしゃいます。新体操選手として、また新体操指導者として、自分の経験で学んだことを会社経営に役立てていらっしゃるとのことでした。荒川さんから表題にもありますが、「大人の役割」についてしっかりと学ばせていただきました。

また、短命県返上についてもご尽力されておられ、今後、当町でもお世話になるかもしれません。

